令和元年度(2019年度) 行政評価シート【個表】 令和元年7月5日

評価対	象事業		評価者	高齢者	いきいき課担当課長	内田	章子	
健福−25	実施事業	老人福祉センター管理運営事業	自治事務	主管課	高齢者いきいき課			
(降価−25		を入価値センター官理連呂事 末 「	法定受託事務	関連課				
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の)支援サービス			

1 事業の目的

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

対 象 高齢者(本市に住所を有する60歳以上の者)

意 健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。

効 外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのあ 果 る生活を実現する。

・名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び腰越なごやかセンターの管理運営業務を指定管理者に委託した。
・各センターの施設修繕を行った。

・名越やすらぎセンターの耐震改修工事にかかる設計業務を行った。

3 事業費等基礎データ

一人	データ区分	29年度(2017年度)決算	30年度(2018年度)決算	データ区分	01年度(2019年度)当初予算	備考
データ	人口	176,466	176,308人	人口	176,436人	•各年3月31日
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯	(住民基本台帳)
7 0	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	195,626	208,063	当初予算(千円)	273,529	
運	国県支出金		1,764	国県支出金	1,206	
営資源	地方債			地方債	39,900	
頁	その他	25	18	その他	18	
状	一般財源	195,601	206,281	一般財源	232,405	
況	人員配置数	0.9	0.9	人員配置数	0.9	
	人 件 費(千円)	7,131	7,111	人 件 費(千円)	7,147	
事	総事業費(千円)	202,757	215,174	総事業費(千円)	280,676	
経業 費運	市民1人当りの 経費(円)	1,149	1220	市民1人当りの 経費(円)	1,591	
営	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4	評価結果	※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、	プルダウンで選	誹
			7 10 7 7 2 52	: <i>U</i> Y

4	a#10	<u> </u>		<u>- ※「効率性」妥当性」有効性」公平性」協働」については、ブルダウンで選択</u>				
杰	率 性	事業費に削減余地はないか		2. tav				
X)] ·	* II	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合できない				
		事業の実施に対する市民ニーズはある	るか	3. 変わらずにある				
妥	当 性	事業の廃止・休止による市民生活への影	/響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある				
		今後も市が実施すべき事業か		5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある				
右:	効 性	事業の成果は得られているか		3. 十分な成果が出ている				
*H .	דו נעג	事業の上位施策に向けた貢献度は大	きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している				
公	平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-1. 今は受益者負担を求めていないが、今後、負担の導入を検討する必要があ				
				△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない				
協	働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働実施済の場合のパートナー				
		□ a:事業内容を見直す ⇒	見 広大					
	業内の方	_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		九 店				
容	業内 の方]性	_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	96	内直 容し				
容	の方	■ b:事業内容は現状通りとする	種直 類し の □ その	内直 容し				
容向	の方]性 	■ b:事業内容は現状通りとする □ c:事業を休止又は廃止する	種類の □ その :する =	内置容 20他 事業へ統分				
容命 予模	の方 性 規規の方	b:事業内容は現状通りとするc:事業を休止又は廃止する□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	種し の 二する = 第業内容・予 算規模の方向	 内虚 容しの他 事業へ統定 予算規模は、名越やすらぎセンター耐震改修工事にかかる費用計上の必要がなるため縮小となるが、老人福祉センターの健全な維持管理のため、現状どおりなるため縮小となるが、老人福祉センターの健全な維持管理のため、現状どおり 				
容命 予模	の方 対性 規	■ b:事業内容は現状通りとする □ c:事業を休止又は廃止する □ d:他事業と統合し、本事業は廃止 □ A:予算規模を拡大する	種 □ □ 縮小 □ その □ その □ ま業内容・予	へ 内				
容。 予模。	の 対 対 関 規 が 対 は に に に に に に に に に に に に に	 b:事業内容は現状通りとする c:事業を休止又は廃止する d:他事業と統合し、本事業は廃止 A:予算規模を拡大する B:予算規模は現状維持とする 	種し の 二する = 第業内容・予 算規模の方向	 内虚 容しの他 事業へ統定 予算規模は、名越やすらぎセンター耐震改修工事にかかる費用計上の必要がなるため縮小となるが、老人福祉センターの健全な維持管理のため、現状どおりなるため縮小となるが、老人福祉センターの健全な維持管理のため、現状どおり 				
	の性 算の性 規方 研 デ 対	 b:事業内容は現状通りとする c:事業を休止又は廃止する d:他事業と統合し、本事業は廃止 A:予算規模を拡大する B:予算規模は現状維持とする C:予算規模を縮小する 	種類の おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おお	 内ででは、 内ででは、 内ででは、 内ででは、 内ででは、 内ででは、 内ででは、 内ででは、 内ででは、 内では、 内				
容	の性 算の性 規方 研 デ 対	 b:事業内容は現状通りとする c:事業を休止又は廃止する d:他事業と統合し、本事業は廃止 A:予算規模を拡大する B:予算規模は現状維持とする C:予算規模を縮小する 	種類の 常小 その 事業機の で お で で で で で で で で で で で で で で で で で	 内産 容しの他 予算規模は、名越やすらぎセンター耐震改修工事にかかる費用計上の必要がななるため縮小となるが、老人福祉センターの健全な維持管理のため、現状どおり事業を実施する。 ベントや講座の実施など利用者ニーズを取り入れた施設運営に努めているが、利用 				

	名越、教養、今泉及び玉縄の各センターは、築20年から築40年経過しており、老朽化が進み、各所に損が、限られた予算の中で対応せざるを得ず、老朽化対策の計画的な取り組みが課題である。また、利用者ニーズにあった施設運営をめざし、利用者増加に努める。	傷が生じている
た平成30年度	突発的な修繕の早期対応や点検の結果に基づく修繕などにより、施設の長寿命化を図るとともに、計画的な修繕の実施に努めた。 また、名越やすらぎセンターの耐震改修工事に向けて準備を進めた。	解決一部解決未解決
	名越、教養、今泉及び玉縄の各センターは、築20年から築40年経過しており、老朽化が進み、各所に損傷が生じていの中で対応せざるを得ず、老朽化対策の計画的な取り組みが課題である。また、利用者ニーズにあった施設運営をめざし、利用者増加に努めるととに、新たな利用者を増やしていくための手法いく必要がある。	
○ 他市比較・ベンチ	・マーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)	

比較事項	高齢化率(平成30年1月1日現在)								
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	三浦市	藤沢市	平塚市			
他市実績	30.6%	31.1%	31.7%	37.0%	24.3%	27.3%			
他中大帜									
比較事項	60歳以上人口	(平成30年1月	1日現在)						
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	三浦市	藤沢市	平塚市			
他市実績	62,685人	149,275人	22,041人	19,862人	125,930人	85,187人			
他中天棋									
比較事項	老人福祉センター設置数(平成31年3月31日現在)								
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	三浦市	藤沢市	平塚市			
他市実績	5	6	1	1	3	4			
他中天积									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方

本市は高齢化率、60歳以上人口ともに神奈川県内でも上位のため、高齢者に生きがいやコミュニケーションの機会を提供し、健康寿命の延伸に資する老人福祉センターの整備、運営は有効な政策と思われる。

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容を大福祉センターが	利用者数	(延べ人数)			単位		票の	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値	150,000	140,000	140,000	150,000	150,000	150,000	
利用者数の推移の把握	実績値	146,362	132,827	132,360	146,089	145,257		
	達成率	97.6%	97.6%	94.5%	97.4%	96.8%		
#L# の 中京 老人福祉センターラ	利用者濡!	足度(利田孝ア	シケート 同 ダ 耂	のるよ「七亦洪	R Land w	+64	= 0	
指標の内容 満足」と回答した人			ング・「凹合石	のプロ・八変画。	足」やや単位		票の i向	備考
指標の内容 満足」と回答した人 当該指標を設定した理由		H26(2014)	H27(2015)	(7)ら「八変価。 H28(2016)				備考
当該指標を設定した理由	の割合)			, - ,	位	% 傾	向	備考
	の割合) 年次		H27(2015)	H28(2016)	位 H29(2017)	% H30(2018)	向 R01(2019)	備考

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方

腰越なごやかセンターが平成29年4月に開館したこともあって全体的に利用者数は増えたものの、利用者満足度が下がってきている傾向 にあるため、引き続き利用者増加に努めながら、利用者ニーズに応えられるよう取り組んでいかなければならない。